

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 55 問で解答時間は正味 1 時間 15 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

(例 1)、(例 2)及び(例 3)の問題では 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)、(例 2)では 1 つ、(例 3)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例 1)、(例 2)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3)の質問には、1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

101 助産業務が行えるのはどれか。

1. 合格発表日以降
2. 合格証書受領日以降
3. 助産師籍登録日以降
4. 免許証受領日以降

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④
			↓	
101	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

101	101
①	①
②	②
③	●
④	④

(例2)

102 助産師国家試験の受験資格が規定されているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 母子保健法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、 102 ① ② ③ ④ ⑤ ↓ 102 ① ② ③ ● ⑤	答案用紙②の場合、 102 102 ① ① ② ② ③ → ③ ④ ● ⑤ ⑤
--	---

(例3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、 103 ① ② ③ ④ ⑤ ↓ 103 ● ② ③ ④ ●	答案用紙②の場合、 103 103 ① ● ② ② ③ → ③ ④ ④ ⑤ ●
--	---









1 世界保健機構〈WHO〉が提唱しているリプロダクティブ・ヘルスの基本的四大要素で正しいのはどれか。

1. 健全な家族関係を維持できる。
2. 婦人科系がんの早期発見ができる。
3. 思春期の人たちの栄養状態を適切に保つ。
4. すべての女性が安全な妊娠と出産を享受できる。

2 尖圭コンジローマで正しいのはどれか。

1. 男性は感染しない。
2. 一度罹患すれば再発しない。
3. ワクチンで感染を予防できる。
4. 妊婦が罹患すれば分娩後に治療する。

3 プロスタグランディン  $F_{2\alpha}$  の投与が禁忌である産婦の内科合併症はどれか。

1. 糖尿病
2. 気管支喘息
3. 甲状腺機能低下症
4. 特発性血小板減少性紫斑病

4 成人 T 細胞白血病ウイルス陽性の母親から出生した児への対応で正しいのはどれか。

1. 入院中は他の児と隔離する。
2. 抗体検査は新生児期に実施する。
3. 毎月外来受診するよう母親に指導する。
4. 乳児期の予防接種は通常どおり実施する。

- 5 母体血中の糖を胎児に転送する作用を持つホルモンはどれか。
1. エストロゲン
  2. プロゲステロン
  3. hPL〈ヒト胎盤性ラクトゲン〉
  4. hCG〈ヒト絨毛性ゴナドトロピン〉
- 6 妊娠に伴う膣の変化で正しいのはどれか。
1. 分泌物の pH が低下する。
  2. 色が薄いピンク色に変化する。
  3. 上皮のグリコゲン含有量が減少する。
  4. Döderlein〈デーデルライン〉桿菌が減少する。
- 7 妊娠前から妊娠初期にかけて葉酸を十分に摂取することで発症を低減できる胎児合併症はどれか。
1. 心奇形
  2. 胎児水腫
  3. 胎児発育不全
  4. 神経管閉鎖障害
- 8 甲状腺疾患合併妊娠について正しいのはどれか。
1. 甲状腺ホルモン製剤内服中は授乳を禁止する。
  2. Basedow〈バセドウ〉病は妊娠中期以降に改善傾向を示す。
  3. 橋本病は分娩を契機に甲状腺クリーゼを発生するリスクが高い。
  4. プロピルチオウラシルを内服していた場合、授乳中はチアマゾールに切り替える。

9 5名の経産婦に対して、上の子どもへの対応をテーマに育児教室を開催することになった。

参加者を中心とした方法で最も適切なのはどれか。

1. シンポジウム
2. バズ・セッション
3. デモンストレーション
4. パネルディスカッション

10 母体保護法に定められた不妊手術について正しいのはどれか。

1. 卵巣摘出術が含まれる。
2. 配偶者の同意は不要である。
3. 母体保護法指定医以外は実施できない。
4. 都道府県知事に実施報告をしなければならない。

11 Traube<トラウベ>聴診器とその聴診法との写真(別冊No. 1 ①～④)を別に示す。

写真の右下が妊婦の頭側である。

聴診法で正しいのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



12 妊娠中の運動の説明で適切なのはどれか。

1. 「妊娠 16 週以降は、仰向けで実施できる運動をしましょう」
2. 「運動するときは、1 分間に 140 回くらいの脈拍が目安です」
3. 「妊娠高血圧症候群の予防としてウォーキングをしましょう」
4. 「適度な運動をしておけば、お産が長引くことはありません」

13 帝王切開既往妊婦が経膈分娩する際の管理で正しいのはどれか。

1. 陣痛発生した時点で帝王切開の術前検査を行う。
2. 微弱陣痛ではプロスタグランジン製剤を用いる。
3. 分娩第 2 期遷延でも吸引分娩は行わない。
4. 分娩後 1 時間は頻回に母体の血圧測定を行う。

14 30 歳の初産婦。身長 158 cm、体重 68 kg。推定児体重 3,800 g。第 1 頭位。陣痛間欠 2 分、発作 50 秒で、肛門圧迫感が強く努責がかかっている。内診所見は、子宮口 8 cm 開大、展退度 80 %、Station ±0、小泉門が 5 時方向に触れる。

このときにとる体位として最も適切なのはどれか。

1. 坐位
2. 蹲踞位
3. 左側臥位
4. 四つん這い

15 在胎 38 週で出生した児。出生体重 2,600 g、身長 48 cm。分娩時に羊水混濁を認めた。出生直後、体温 37.1℃、心拍 120/分、呼吸数 52/分。中心性チアノーゼはなく、活気があって筋緊張は良好である。

アセスメントで正しいのはどれか。

1. このまま経過観察する。
2. 酸素投与が必要である。
3. 口腔内吸引が必要である。
4. 保育器への収容が必要である。

16 オキシトシンによる分娩誘発法で正しいのはどれか。

1. 希釈法は、5 単位のオキシトシンを 500 ml の 5% ブドウ糖液に溶解する。
2. 分娩監視装置は、子宮収縮薬投与開始時から装着する。
3. オキシトシンを増量するときは 15 分ごとに行う。
4. 血圧と脈拍測定は 2 時間ごとに行う。

17 授乳時の乳頭痛の予防で適切なのはどれか。

1. 児が泣き始めてから授乳する。
2. 児に吸啜させる時間を 1 回 3 分とする。
3. 児の唇を巻き込むように乳頭をくわえさせる。
4. 児の胸を母親の身体にぴったりとつけるように抱く。

18 新生児蘇生におけるフリーフローによる酸素投与の写真(別冊No. 2 ①～④)を別に示す。

正しいのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



19 1か月健康診査における診察所見で直ちに専門的な検査・治療が必要となるのはどれか。

1. 臍ヘルニア
2. 停留睪丸
3. 陰嚢水腫
4. 白色便

20 地域において保健福祉活動を行う機関と事業の組合せで正しいのはどれか。

1. 市町村 ————— 養育医療の給付
2. 福祉事務所 ————— 助産施設への入所措置
3. 助産所 ————— 自立支援医療(育成医療)の給付
4. 児童相談所 ————— ファミリーサポートセンター事業

21 病院で助産師外来を開設することになった。

目標管理過程のPDCAサイクルの組合せで適切なのはどれか。

1. P ——— 調査結果を参考に助産師外来の時間を変更する。
2. D ——— 助産師外来の運営方法や人員配置について計画する。
3. C ——— 利用者満足度調査を実施する。
4. A ——— 助産師外来を実施する。

22 助産所の管理で正しいのはどれか。

1. 妊産婦の入所数は1～19人である。
2. 開設者と管理者は同一人物でなければならない。
3. 開設者は嘱託医師名を都道府県知事に届け出る。
4. 業務に従事する助産師の略歴を広告してはならない。

23 大地震が発生した。地区の電気・水道の使用ができなくなった。病院建物の倒壊はない。余震は続いている。

褥婦に説明する内容で適切なのはどれか。

1. 避難する際は新生児を助産師に預ける。
2. 食事が十分に摂れなくても母乳哺育を続ける。
3. お湯を沸かせないときはミルクを水で溶かす。
4. 母子の家族を病院に呼んで一緒に生活してもらう。

24 肺胞内圧を高く維持して肺胞の虚脱を防止する新生児の呼吸症状はどれか。

1. 呻 吟
2. 多呼吸
3. 陥没呼吸
4. 鼻翼呼吸
5. シーソー呼吸

25 32歳の経産婦。妊娠36週1日。妊婦健康診査に来院した。体重52kg。血圧136/82mmHg。尿蛋白+、尿糖(-)。下腿浮腫+。内診所見は、子宮口閉鎖。推定児体重は2,680g。超音波検査では30分間に明瞭な四肢の動きを2回認め、そのうち1回は脚をすばやく伸展して屈曲位に戻す運動であった。この間、胎児呼吸様運動は認めない。36mmの羊水ポケットを認めた。NSTはreassuring fetal statusであった。

対応で適切なのはどれか。

1. オキシトシン点滴静脈内注射
2. 24時間後の超音波検査
3. 1週後の超音波検査
4. ラミナリア桿挿入
5. 帝王切開術

26 30歳の初産婦。昨日午後10時に内診所見子宮口2cm開大で入院した。本日午前7時、陣痛間欠2分、陣痛発作50~60秒。内診所見は、子宮口9cm開大、Station +1。胎児心拍数陣痛図では正常波形。時々悪心があり、陣痛に関係なく、ベッド上で体を丸めてベッド柵にしがみついている。

産婦への援助で最も適切なのはどれか。

1. 入浴を促す。
2. 乳頭刺激を行う。
3. 力を抜くよう促す。
4. 坐位になるよう促す。
5. 朝食の全量摂取を促す。

27 新生児の呼吸窮迫症候群(RDS)で正しいのはどれか。

1. 女児に多い。
2. 肺表面活性物質は過剰である。
3. 母親が糖尿病であると発症しやすい。
4. 破水から出生までの時間が長いほど発症しやすい。
5. 新生児へのステロイド治療によって症状が軽減する。

28 2000年に策定された「健やか親子21」における2014年までの目標として正しいのはどれか。

1. 10代の飲酒率を半減する。
2. 10代の人工妊娠中絶をなくす。
3. 朝食を欠食する子どもの割合を半減する。
4. かかりつけの小児科医を持つ親の割合を100%にする。
5. 不妊治療のカウンセリングを受けられる割合を倍増する。

29 「母性健康管理指導事項連絡カード」について規定している法律はどれか。

1. 労働基準法
2. 母子保健法
3. 母体保護法
4. 国民健康保険法
5. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律

30 トキソプラズマ症で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 妊婦の尿検査によって診断する。
2. 胎児への感染は母体経膈上行感染である。
3. 妊婦の初感染は胎児感染のリスクが高い。
4. 胎児に感染した場合は心室中隔欠損を生じる。
5. 感染した動物の糞尿に妊婦が触れることによって感染する。

31 分娩の三要素のうち、「産道」と「胎児およびその付属物」との相互関係によって生じるのはどれか。2つ選べ。

1. 肩甲難産
2. 子宮破裂
3. 低在横定位
4. 頸管無力症
5. 原発性微弱陣痛

32 糖尿病合併妊婦への対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 妊娠によって耐糖能は悪化しやすいことを説明する。
2. BMI が22 の妊婦ではエネルギー付加は行わない。
3. 食前血糖値が100 mg/dl 以下となるよう管理する。
4. 血糖コントロールには経口血糖降下薬を用いる。
5. リトドリン塩酸塩使用时には低血糖に注意する。

33 新生児の黄疸で直接ビリルビンが上昇するのはどれか。2つ選べ。

1. 母乳性黄疸
2. 胆道閉鎖症
3. 新生児肝炎
4. Rh 式血液型不適合
5. ABO 式血液型不適合

34 日本で承認されている低用量経口避妊薬について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 排卵を抑制する。
2. 卵巣癌の発生率を高める。
3. 子宮頸癌の予防効果がある。
4. 黄体ホルモン単独製剤である。
5. 不妊手術以外で最も避妊効果が高い。

35 妊娠 28 週の初妊婦で正常から逸脱している所見はどれか。2 つ選べ。

1. AFI 25 cm
2. BPD 70 mm
3. 子宮底長 25 cm
4. 推定児体重 800 g
5. 胎児心拍数 140 bpm

36 25 歳の経産婦。妊娠 40 週。午前 1 時に子宮口 3 cm 開大で入院したが、陣痛が弱くなったため陣痛間欠時に眠っている。午前 11 時、陣痛周期は 8～9 分であり「痛みは強くありません」と言う。内診所見は、子宮口 4 cm 開大、展退度 70 %、Station -1 であった。胎児心拍数陣痛図は正常波形であった。未破水である。昼食は全量摂取している。昨夜排便があった。

陣痛を促進するための効果的なケアはどれか。2 つ選べ。

1. グリセリン浣腸を実施する。
2. 努責を誘導する。
3. 歩行を勧める。
4. 入浴を勧める。
5. 導尿する。

37 とともに外国籍の両親が日本国内で出生した児を日本で養育するために必要となるのはどれか。2 つ選べ。

1. 出生届の提出
2. 日本国籍の申請
3. 日本の戸籍の作成
4. パスポートの申請
5. 在留資格取得許可の申請

38 在胎 30 週、1,600 g にて出生した新生児。保育器に収容され、呼吸障害に対して経鼻的 CPAP 療法が行われている。

このときのケアとして正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 動脈血酸素分圧 (PaO<sub>2</sub>) 100 Torr を目標に酸素濃度を調節する。
2. 経口哺乳は生後 6 時間から開始する。
3. 投与する水分量の目安を 60 ml/kg/日とする。
4. 保育器内の温度は 36～37℃ に設定する。
5. 保育器内の湿度は 60% に設定する。

39 生後 2 か月から接種が可能なワクチンはどれか。2 つ選べ。

1. Hib ワクチン
2. 麻疹ワクチン
3. DPT ワクチン
4. 肺炎球菌ワクチン
5. 日本脳炎ワクチン

40 分娩監視装置による連続的モニタリングが勧められるのはどれか。2 つ選べ。

1. 前期破水
2. 予定日超過
3. 分娩第 1 期
4. 子宮収縮薬投与中
5. 41 ml 以上のメトロイリントル挿入中

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

52歳の女性。42歳で子宮筋腫に対して単純子宮全摘術を受けた。1年前からホットフラッシュや発汗が出現し、最近、その頻度が増して動悸や易疲労感を伴うようになったため来院した。来院時、身長154 cm、体重43 kg。脈拍64/分、血圧112/72 mmHgである。

41 この女性の検査結果で上昇している可能性が高いのはどれか。

1. 甲状腺刺激ホルモン〈TSH〉
2. 卵胞刺激ホルモン〈FSH〉
3. エストラジオール
4. プロゲステロン

42 この女性はホルモン補充療法を受けることになった。

方法として適切なのはどれか。

1. エストロゲン単独周期的投与方法
2. エストロゲン単独持続的投与方法
3. エストロゲン・プロゲステン(黄体ホルモン製剤)併用周期的投与方法
4. エストロゲン・プロゲステン(黄体ホルモン製剤)併用持続的投与方法

43 この女性がホルモン補充療法を受けることで予防できるのはどれか。

1. 乳 癌
2. 脳卒中
3. 骨粗鬆症
4. 静脈血栓塞栓症

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

Aさん(40歳、女性)は、36歳で結婚したが自然妊娠しなかったため、38歳から不妊専門クリニックで治療を受けている。既往歴に特記すべきことはない。これまで体外受精を4回受けた。今回の体外受精で受精後5日の胚2個を子宮内に移植し、妊娠反応陽性になった。

44 胚移植から4週経過した。3日前から下腹部膨満感と悪心とがあり、食事も摂れていないため来院した。身長155cm、体重50kg。体温37.0℃、脈拍60/分、血圧120/70mmHg。尿蛋白(-)、尿糖(-)、尿ケトン体2+。診察にて膣分泌物は白色少量、子宮口は閉鎖。子宮は超鶏卵大で軟らかく、軽度の圧痛がある。経膣超音波検査の所見(別冊No. 3)を別に示す。

診断で正しいのはどれか。

1. 1絨毛膜1羊膜性双胎
2. 1絨毛膜2羊膜性双胎
3. 2絨毛膜1羊膜性双胎
4. 2絨毛膜2羊膜性双胎

別冊 No. 3
-------------

45 Aさんは悪阻の治療のため総合病院に入院となった。入院後、Aさんは「不妊治療を受けている間は妊娠を目標に頑張っていました。妊娠後のことまで深く考えていませんでした。私にはどんなリスクがあるのか、夫と一緒に聞いておきたいです」と話している。

Aさんと夫への説明として優先度が高いのはどれか。

1. 子宮破裂
2. 絨毛膜羊膜炎
3. 児頭骨盤不適合
4. 妊娠高血圧症候群
5. 母児間輸血症候群

46 Aさんは妊娠37週1日で破水し、2,520gと2,600gの児を帝王切開にて分娩した。術後の経過は良好である。術後7日、Aさんは「無事に出産できてほっとしていますが、退院後の育児がきちんとできるか心配です。不妊治療で貯金を遣ってしまったので、経済的にもあまり余裕がありません」と不安そうである。

Aさんが今後の支援で活用できるのはどれか。

1. 養育医療
2. 新生児訪問指導
3. 産科医療補償制度
4. 特定不妊治療助成制度

次の文を読み 47～49 の問いに答えよ。

36歳の初産婦。妊娠経過は順調であった。妊娠39週5日、午後11時に陣痛発来し、翌日午前2時に入院した。入院時の内診所見は、子宮口4cm開大、展退度30%、Station-2、未破水であった。

47 午前7時、陣痛間欠9分、陣痛発作30秒。内診所見は、子宮口5cm開大、展退度40%、Station-1、大泉門を1時方向に触れた。未破水である。

胎児の胎位で正しいのはどれか。

1. 前方前頭位
2. 前方後頭位
3. 後方前頭位
4. 後方後頭位

48 胎児心拍数陣痛図では正常波形であったので、病棟内を自由に歩行できるように分娩監視装置を外して経過観察した。午前10時、陣痛間欠7分、陣痛発作30秒。内診所見は、子宮口5cm開大、展退度40%、Station-1、大泉門を1時方向に触れた。未破水である。胎児心拍数陣痛図は正常波形である。

この時点の処置として適切なのはどれか。

1. 人工破膜
2. メトロイリントル挿入
3. オキシトシン点滴静脈内注射
4. プロスタグランディンE<sub>1</sub>誘導体腔坐薬の投与

49 午後3時に子宮口は全開大した。午後4時、陣痛間欠2分、陣痛発作60秒。内診所見は、子宮口全開大、展退度100%、Station +3、小泉門が先進し6時方向に触れた。胎児心拍数陣痛図は正常波形である。

適切な対応はどれか。

1. 経過観察する。
2. McRoberts〈マックロバーツ〉体位をとらせる。
3. 吸引分娩の準備をする。
4. 帝王切開の準備をする。

次の文を読み 50～52 の問いに答えよ。

41歳の初産婦。妊娠経過は順調であった。妊娠41週3日、午前7時に前期破水し、午前10時に入院した。体温37.0℃。内診所見は、子宮口3cm開大、展退度50%、Station-2であった。

50 入院時の胎児心拍数陣痛図(別冊No. 4)を別に示す。

対応で正しいのはどれか。

1. 2時間ごとにドップラーで間欠的胎児心拍数聴取を行う。
2. 15分ごとにドップラーで間欠的胎児心拍数聴取を行う。
3. 陣痛が規則的になってから連続的分娩監視装置モニタリングを再開する。
4. 連続的分娩監視装置モニタリングを継続する。

別冊 No. 4
-------------

51 午後6時の内診所見は、子宮口9cm開大、展退度80～90%、Station±0、小泉門が10時方向に触れた。羊水流出がみられ、混濁はない。陣痛間欠2分、陣痛発作60秒。陣痛発作時、産婦は顔をしかめている。胎児心拍数陣痛図は正常波形であった。

この時点の援助で適切なのはどれか。

1. 禁食とする。
2. 努責の練習をする。
3. 分娩体位をとってもらおう。
4. 背部から腰部へのマッサージを行う。

52 分娩時の第4回旋で正しいのはどれか。

1. 児の右肩甲が先進し、顔面は母体の左大腿側に向く。
2. 児の左肩甲が先進し、顔面は母体の左大腿側に向く。
3. 児の右肩甲が先進し、顔面は母体の右大腿側に向く。
4. 児の左肩甲が先進し、顔面は母体の右大腿側に向く。

次の文を読み 53～55 の問いに答えよ。

Aさん(35歳、経産婦)。3,200gの児を正常分娩にて出産した。夫と2歳の長女との4人暮らし。実母は徒歩5分のところに住んでおり、手助けが必要なときはいつでも訪問が可能である。

53 助産師は、保健センターから新生児訪問の委託を受けて、生後28日に訪問した。「赤ちゃんの体重が増えない気がします。1回の授乳に40分から1時間かかって私が疲れるのでミルクに切り替えたい」と相談された。児の体重増加量は30g/日であった。

母乳哺育について優先して観察すべきAさんに関する項目はどれか。

1. 食事内容
2. 水分摂取量
3. 授乳時の姿勢
4. 乳房のタイプ

54 Aさんは「最近、長女が言うことを聞かない。いけないことだと分かっているが、授乳で疲れているときに反抗されると、イライラして長女を叩いてしまう」と話した。助産師はAさんの話をよく聴き、思いを受け止めた。

その後のAさんへの助言として適切なのはどれか。

1. 「なぜ反抗するのかを長女に聞いてみましょう」
2. 「叩きそうになったら大きく深呼吸しましょう」
3. 「児童虐待再発防止プログラムに参加してみませんか」
4. 「長女が言うことを聞かないときには厳しく叱りましょう」

55 エジンバラ産後うつ病自己質問票で、Aさんの得点は10点であった。

対応として適切なのはどれか。

1. 子育て広場を紹介する。
2. 乳児院への入所を勧める。
3. 夫婦で精神科を受診するよう勧める。
4. ファミリーサポートセンターを紹介する。
5. 直ちに保健センターの母子担当の保健師に連絡をする。







## 注 意 事 項

1. 試験問題の数は 55 問で解答時間は正味 1 時間 20 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

(例 1)、(例 2)及び(例 3)の問題では 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)、(例 2)では 1 つ、(例 3)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例 1)、(例 2)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3)の質問には、1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

101 助産業務が行えるのはどれか。

1. 合格発表日以降
2. 合格証書受領日以降
3. 助産師籍登録日以降
4. 免許証受領日以降

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、				答案用紙②の場合、			
101	①	②	③	④	101	101	
	①	②	③	④	①	①	
			↓		②	②	
101	①	②	●	④	③	●	→
					④	④	

(例2)

102 助産師国家試験の受験資格が規定されているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 母子保健法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、	答案用紙②の場合、
102 ① ② ③ ④ ⑤	102 ① ①
↓	② ②
102 ① ② ③ ● ⑤	③ → ③
	④ ●
	⑤ ⑤

(例3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、	答案用紙②の場合、
103 ① ② ③ ④ ⑤	103 ① ●
↓	② ②
103 ● ② ③ ④ ●	③ → ③
	④ ④
	⑤ ●









- 1 日本で着床前診断の対象となる疾患はどれか。
  1. フェニルケトン尿症
  2. Down〈ダウン〉症候群
  3. Turner〈ターナー〉症候群
  4. Duchenne〈デュシェンヌ〉型筋ジストロフィー
  
- 2 月経前症候群の身体症状に主に関わるホルモンを分泌するのはどれか。
  1. 卵 巢
  2. 脳下垂体前葉
  3. 脳下垂体後葉
  4. 視床下部
  
- 3 授乳が禁止となる薬剤はどれか。
  1. アンピシリン
  2. プレドニゾロン
  3. メトトレキサート
  4. アセトアミノフェン
  
- 4 卵膜を構成するもので母体に由来するのはどれか。
  1. 羊 膜
  2. 脱落膜
  3. 絨毛膜
  4. 結合組織層

5 妊娠に伴う変化で正しいのはどれか。

1. 心拍出量は減少する。
2. 腎血漿流量は減少する。
3. 循環血流量は減少する。
4. 腎の糸球体濾過率は増加する。

6 頭位分娩での児頭の応形機能について正しいのはどれか。

1. 前方後頭位では大斜径が短縮する。
2. 児頭の変形は分娩後約1か月持続する。
3. 両頭頂骨の上に前頭骨・後頭骨が重なる。
4. 後在頭頂骨が前在頭頂骨の下方に進入する。

7 39歳の初産婦。双胎妊娠による切迫早産で4週間の安静入院後、妊娠37週で帝王切開となった。手術翌日の子宮底の高さは臍下1横指で収縮は良好である。Hb 10.2 g/dl。初回歩行時、軽度下肢の痛みを感じたがしばらくして痛みは落ち着いた。脈拍72/分、血圧118/56 mmHg。初回歩行の2時間後にトイレまで歩行した際、トイレ内で突然意識を消失した。

考えられる状態はどれか。

1. 子 癇
2. 脳虚血
3. 肺血栓塞栓症
4. 出血性ショック

8 60歳の女性。排尿困難を主訴として来院した。膀胱と子宮頸部が膣口まで下垂しており、医師は骨盤臓器脱と診断し、排尿障害の治療のためにリングペッサリーを膣内に装着した。

この女性への指導として正しいのはどれか。

1. 「入浴時には外してください」
2. 「スポーツは控えてください」
3. 「装着したまま性交渉が可能です」
4. 「長時間の外出は控えてください」

9 25歳の初産婦。妊娠40週5日で、3,850gの児を正常分娩した。弛緩出血で、約2,000ml出血した。現在分娩後2時間、子宮収縮は良好である。脈拍130/分、血圧80/50mmHg。産婦は意識清明であるが悪心を訴えており、四肢の冷感を認めた。

直ちに行われる処置はどれか。

1. 全身を温める。
2. 輸血を開始する。
3. 気管内挿管する。
4. 副腎皮質ステロイドを投与する。

10 妊娠20週の双胎妊娠の女性。会社員。非妊時BMIは21.5。現在、非妊時体重より4kg増加している。

保健指導で適切なのはどれか。

1. 「マタニティビクスをしましょう」
2. 「次の妊婦健康診査は4週後になります」
3. 「分娩予定日の16週前から休業できます」
4. 「非妊時から分娩時までの体重増加の目安は11～14kgです」

11 会陰裂傷第3度があった産婦への対応で正しいのはどれか。

1. 直腸診を行う。
2. 直腸筋層まで縫合する。
3. 食事は低残渣食とする。
4. 翌日に浣腸を行う。

12 Brandt-Andrews〈ブランド・アンドリュース〉胎盤圧出法で適切なのはどれか。

1. 胎盤剝離徴候を確認する前に実施する。
2. 片手を腹壁から子宮体と子宮下部の境の部位に当てる。
3. 最初に腹壁に当てた手で子宮体を恥骨部側に押し下げる。
4. 臍帯は牽引しないようにする。

13 34歳の1回経産婦。前回正常分娩で2,700gの児を出産した。妊娠39週3日。身長145cm、体重58kg。児頭大横径(BPD)9.6cm。午後2時30分に自然破水した。内診所見は、子宮口全開大、Station -3、矢状縫合は横径に一致していた。午後4時、陣痛間欠1～2分、陣痛発作60秒。内診所見では、児頭の下降度に変化がなかった。胎児心拍数陣痛図は正常波形である。

対応で適切なのはどれか。

1. 散歩を勧める。
2. 絶飲食とする。
3. 乳頭刺激をする。
4. 子宮収縮薬の準備をする。

14 28歳の初産婦。3,400gの児を正常分娩で出産した。分娩時出血は650ml。会陰裂傷第2度と膣壁裂傷とがあり、縫合術を受けた。分娩後3時間、体温37.3℃、脈拍88/分、血圧120/70mmHg。子宮底は臍下2横指で硬く触れる。赤色出血が1時間で40g。「お尻のあたりが痛い」と激しい痛みを訴え、苦痛表情だが脱肛はない。会陰部に腫脹はなく縫合不全もない。

最も考えられるのはどれか。

1. 頸管裂傷
2. 膣壁血腫
3. 弛緩出血
4. 後陣痛

15 NYHA分類でI度の心疾患合併妊婦の管理で適切なものはどれか。

1. 選択的帝王切開を勧める。
2. 妊娠初期から入院を勧める。
3. 生活の中に一定の休息時間を設ける。
4. インフルエンザワクチンの接種を控えるように説明する。

16 市町村における次世代育成支援の行動計画策定で適切なものはどれか。

1. 民間事業者の活用は控える。
2. 他の市町村と類似した計画とする。
3. 社会的養護を必要とする子どもへの対応を検討する。
4. 夫婦と子ども2人の世帯を想定して対策を検討する。

17 母体保護法の目的で正しいのはどれか。

1. 母子の生活を支援する。
2. 母子保健事業を推進する。
3. 母性の生命健康を保護する。
4. 母子家庭および寡婦の福祉を保護する。

18 助産師の守秘義務違反と**ならない**のはどれか。

1. 妊婦の夫が有名人であることを友人の助産師に話した。
2. 妊婦のパートナーが失業していたことを妊婦の母親に伝えた。
3. 昨日の感動的な出産をしたAさんのことを妊婦である友人に話した。
4. 5歳の子どもの腹部に複数の内出血があることを児童相談所に伝えた。

19 助産業務について正しいのはどれか。

1. 臨時応急の手当であっても医行為を行ってはならない。
2. 医師の指示の下に行った行為は責任を問われない。
3. 業務の範囲内において裁量権がある。
4. 死胎の検案はできない。

20 男性側の不妊原因で最も多いのはどれか。

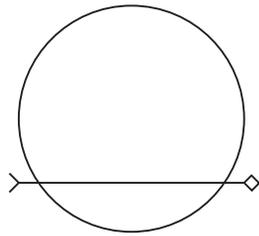
1. 造精機能障害
2. 精路通過障害
3. 勃起障害
4. 射精障害
5. 性欲低下

21 第2頭位で、児頭の最大周囲径が骨盤入口部にある図を示す。

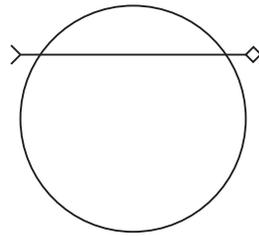
前頭頂骨進入はどれか。

ただし、図の上が母体腹側、下が母体背側を示す。円は骨盤入口面、◇印は大泉門、∟印は小泉門を表す。

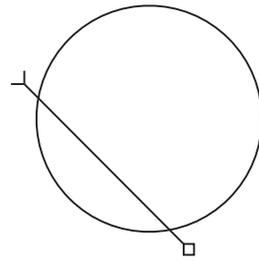
1.



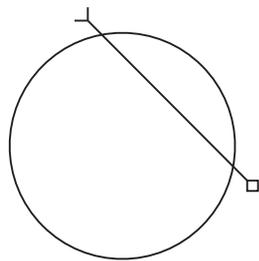
2.



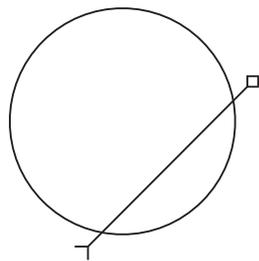
3.



4.



5.



22 妊婦の下肢のけいれんについて正しいのはどれか。

1. 膝窩筋に起こりやすい。
2. 妊娠初期に発症頻度が高い。
3. 血中のカルシウムの増加が原因となる。
4. 予防としてリン酸の過剰摂取を避ける。
5. 予防として就寝時は下肢の底屈位をとる。

23 鉗子分娩を安全に行うために満たすべき条件はどれか。

1. 小泉門が先進している。
2. 胎児の状態が良好である。
3. 子宮口が全開大している。
4. Station が±0 以下である。
5. 矢状縫合が縦になっている。

24 母乳哺育を行っている生後1か月の正期産児において、母乳不足を疑う所見はどれか。

1. 平均体重増加量 27 g/日
2. 哺乳時間 40～50 分/回
3. Kaup〈カウプ〉指数 17
4. 哺乳回数 8～10/日
5. 粘液便の排泄

25 助産録の記載事項として保健師助産師看護師法施行規則に規定されていないのはどれか。

1. 児の性別
2. 分娩の場所
3. 妊産婦の住所
4. 妊産婦の国籍
5. 胎児付属物の所見

26 妊娠 27 週 5 日で出生した 1,050 g の児。

皮膚の観察でみられるのはどれか。2 つ選べ。

1. 硝子様透明
2. 稗粒腫
3. 胎 脂
4. 落 屑
5. 産 毛

27 Rubin〈ルービン〉の示す母親役割行動における保持期の特徴で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 家族との関係を再調整する。
2. 育児技術の習得に向けて努力する。
3. 自らの基本的欲求を満たそうとする。
4. 母乳が十分分泌するかに関心を向ける。
5. 出産によって、子どもと分離したという認識をもつ。

28 胎児機能不全を起こしやすい臍帯の所見はどれか。2つ選べ。

1. 臍帯偽結節がある。
2. 臍帯の長さが25 cmである。
3. 臍帯が卵膜に付着している。
4. 臍動脈が2本、臍静脈が1本である。
5. 臍帯の太さが1.5 cm × 1.5 cmである。

29 低出生体重児で出生後早期に起こりやすいのはどれか。2つ選べ。

1. 一過性多呼吸
2. 顔面神経麻痺
3. 上腕神経叢麻痺
4. 胎便吸引症候群
5. 低カルシウム血症

30 36歳の初産婦。身長160cm、非妊時体重56kgであった。妊娠26週2日、体重60kg、血圧142/78mmHg。尿蛋白+、尿糖(±)。Hb10.5g/dl。子宮底長30cm、腹囲93cm。下腿浮腫(±)。1週間前から腰痛がある。腹部緊満感が頻回にある。内診所見は、子宮口閉鎖、出血はない。

妊婦への指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 入浴を制限する。
2. 鉄分の多い食材を勧める。
3. 摂取カロリーを制限する。
4. 1日1時間程度の散歩を勧める。
5. 腹部緊満感のあるときは休息をとる。

31 助産所業務ガイドラインで、嘱託医療機関に緊急に搬送すべき新生児の症状とされているのはどれか。2つ選べ。

1. 直腸温38.1℃
2. 出生時体重2,400g
3. 生後12時間排便がない。
4. 生後18時間に黄疸を認める。
5. 他症状のない生後6時間の心雑音

32 第1前方後頭位の分娩経過で Station +3 のときの所見について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 矢状縫合は左斜径に一致する。
2. 小泉門は10時方向に触れる。
3. 恥骨結合後面3分の2を触知できる。
4. 児頭の最大周囲径は骨盤峽部にある。
5. Hodge〈ホッジ〉骨盤平行平面区分法では第4平行平面である。

33 2010年版の「日本人の食事摂取基準」で授乳婦に付加量が設定されている栄養素はどれか。2つ選べ。

1. カルシウム
2. ビタミンA
3. ビタミンK
4. 食物繊維
5. 鉄

34 子宮筋腫合併妊婦。妊娠34週で、子宮底部の筋層内筋腫は直径8cmであり、胎盤付着位置は筋腫の直上である。

特に注意すべき産科合併症はどれか。2つ選べ。

1. 常位胎盤早期剥離
2. 児頭骨盤不均衡
3. 分娩後出血
4. 過強陣痛
5. 頸管裂傷

35 セルフヘルプグループ活動はどれか。2つ選べ。

1. 死産を経験した母親の会
2. 助産所が主催する両親学級
3. 21トリソミーの児をもつ親の会
4. 高齢初産婦を対象とした出産準備教室
5. 助産師によるベビーマッサージの講習会

次の文を読み 36～38 の問いに答えよ。

14歳の女性。月経周期は28日型であったが、2か月間月経がなかったため、母親に付き添われ思春期外来を受診した。初経は10歳。身長157 cm、体重45 kg。脈拍64/分、血圧110/70 mmHg。全身所見に異常はなかった。

36 母親は「娘は、朝は牛乳だけ、夕食もほとんど残している。給食は少し食べているようだが、痩せてきていて心配です」と話す。本人は「自分は太っていてかわいくない。友達から好かれるために、もっと痩せなくてはいけないから今以上は食べたくありません」と話す。

この時点で思春期やせ症の診断基準を満たすのはどれか。

1. 脈拍数
2. 肥満度
3. 月経周期
4. 本人の自身に対する身体像

37 診察の結果、乳房、陰毛の発育は良好。妊娠反応は陰性。既往歴に特記すべきことはない。血液検査は、FSH 6.0 mIU/ml、LH 3.0 mIU/mlであった。エストロゲンとプロゲステロン(黄体ホルモン製剤)を投与した後に消退出血が認められた。

最も疑われるのはどれか。

1. 視床下部性無月経
2. 下垂体性無月経
3. 卵巣性無月経
4. 子宮性無月経

38 初診から1か月が経過した。無月経の治療と、専門カウンセラーによるカウンセリングを受けている。初診時は、食べることを強く拒否していたが、最近は食べることを受け入れるようになってきた。初診時より体重が2kg減少した。

食事に関する対応で適切なのはどれか。

1. 食事の代わりに経腸栄養剤を摂取する。
2. 食事の量は、残さず摂取できる量から段階的に増量する。
3. 毎日の生活に運動を取り入れ、空腹になるようにする。
4. 治療により月経が開始した後に、食生活の改善をはかる。

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

29歳の経産婦。妊娠37週0日。不規則な子宮収縮を主訴に午後10時に来院した。妊娠経過は良好であった。身長165cm、体重55kg。推定児体重3,400g。胎児心拍数陣痛図では陣痛間欠8分、発作40秒。胎児心拍基線140bpm、胎児心拍細変動は良好で、一過性頻脈があり、一過性徐脈は出現していない。血性分泌物はない。

39 胎児心音の最良聴取部位は、母体の左側、臍棘線上中央であった。内診所見は、子宮口5cm開大、展退度50%、Station -1。陣痛開始しており入院となった。矢状縫合は横径に一致し、大泉門は左側、小泉門は右側に触知できた。

胎児の胎位胎向で正しいのはどれか。

1. 第1後頭位
2. 第1前頭位
3. 第2後頭位
4. 第2前頭位

40 陣痛開始から6時間が経過した。陣痛間欠7分、発作30秒。胎児心拍基線細変動25bpm。陣痛発作時に少し苦悶様の表情がみられたため内診を実施したところ、子宮口6cm開大、展退度60%、Station -1。矢状縫合は右斜径に一致し、小泉門が2時方向に触れた。発作時、胎胞を触知する。血性分泌物少量。

この所見から考えられる状態はどれか。

1. 微弱陣痛
2. 回旋異常
3. 早期破水
4. 胎児機能不全

41 休息と活動を組み入れながら観察し、陣痛開始から16時間が経過した。陣痛間欠6分、発作40秒。内診所見は、子宮口8cm開大、展退度80%、Station+1。胎児心拍数陣痛図では胎児心拍基線140bpm、基線細変動6～25bpm、最下点90bpm、回復まで40秒の変動一過性徐脈が2回みられた。入院してからあまり眠れていないという。

対応で適切なのはどれか。

1. 経過観察する。
2. 院内の階段昇降を促す。
3. 医師と子宮収縮薬の使用について相談する。
4. 帝王切開の準備をする。

次の文を読み 42～44 の問いに答えよ。

32歳の女性。身長160 cm、体重70 kg。月経周期が不規則であったが、市販の妊娠検査薬が陽性であったため来院した。血圧134/80 mmHg。尿蛋白(－)、尿糖(－)であった。

42 最終月経から算出した妊娠週数は8週0日である。超音波検査では、子宮内に胎嚢(GS)は確認されたが、胎芽は認められなかった。

この時点の対応で適切なのはどれか。

1. 入院
2. 自宅安静
3. 1週後に再診
4. 4週後に妊婦健康診査

43 妊娠12週。早朝の悪心と軽度の倦怠感がある。体重72 kg。血圧132/80 mmHg。尿蛋白(－)、尿糖(－)、尿ケトン体(－)。胎児の発育は良好である。

保健指導で最も適切なのはどれか。

1. 「散歩をしましょう」
2. 「1日2食にしましょう」
3. 「果物は好きなだけ食べましょう」
4. 「マタニティスイミングを始めましょう」

44 その後、妊娠経過は順調であったが、妊娠 22 週の妊婦健康診査で、血圧 160/95 mmHg。尿蛋白+。軽度の頭重感が出現した。

病型分類で正しいのはどれか。

1. 本態性高血圧
2. 妊娠高血圧
3. 妊娠高血圧腎症
4. 加重型妊娠高血圧腎症

次の文を読み 45～47 の問いに答えよ。

21歳の初産婦。妊娠経過は順調であった。妊娠40週5日に3,600gの児を正常分娩で出産した。分娩所要時間第1期20時間、第2期3時間、総出血量400mlであった。会陰切開縫合術を受けた。帰室後、食事を全量摂取し、初回授乳を行った。乳房の形はⅢ型であり、短乳頭であった。

45 分娩後5時間、褥婦は尿意を感じ、トイレに歩行したが尿は出なかった。子宮底の高さは臍下2横指、子宮は硬く流血はない。会陰切開縫合部の腫脹と発赤はない。触診で膀胱充満がみられた。

褥婦のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 一過性の尿道括約筋の攣縮をきたしている。
2. 膀胱の筋緊張が上昇している。
3. 膀胱の炎症が起きている。
4. 脱水を起こしている。

46 産褥1日、褥婦は「縫ったところが痛くて、授乳するのがつらいです」と訴えた。会陰縫合部の出血、腫脹および発赤はない。

褥婦の会陰部痛を軽減するためのケアとして有効なのはどれか。2つ選べ。

1. 会陰部のマッサージ
2. 縫合部の冷湿布
3. 縫合部の消毒
4. 縫合部の圧迫
5. 円座の使用

47 退院後2週、褥婦は夫に付き添われて母乳外来を訪れた。「昨夜からおっぱいが痛かったです。今日の昼食後、急に寒気がして熱を測ったら38.0℃で、驚いたのですぐにきました」と震えながら話した。

最も優先度の高い観察項目はどれか。

1. 血乳の有無
2. 副乳の有無
3. 乳頭亀裂の有無
4. 乳房の硬結の有無
5. 乳房の大きさの左右差

次の文を読み 48～50 の問いに答えよ。

在胎 38 週 3 日、吸引分娩で出生した児。分娩中の経過は良好で、排産後、胎児心拍数が 70 bpm に低下し、2 分後に出生した。羊水混濁が軽度あり、児の啼泣は弱く、筋緊張低下を認める。身長 49.5 cm、体重 3,200 g。

48 出生直後の児への処置として正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 胸骨圧迫を開始する。
2. 気管吸引を繰り返す。
3. 乾いたタオルでよく拭く。
4. 児の背部を優しく刺激する。
5. バッグ・マスク換気を開始する。

49 生後 3 日。体重 2,900 g、頭囲 32.5 cm。体温 36.7℃、呼吸数 52/分、心拍数 114/分、整。大泉門 1.4 cm × 1.5 cm、膨隆はなし。先進部の頭頂に浮腫状の腫脹を認める。頬を触った指の方向に口を向ける。便は黄色調で血清総ビリルビン 14.0 mg/dl である。

この児のアセスメントで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 頭血腫がある。
2. 多呼吸である。
3. 高ビリルビン血症である。
4. 生理的範囲の大泉門である。
5. 探索〈ルーティング〉反射がある。

- 50 生後5日。体重2,890gで体重減少が続いている。母乳のみを哺乳している。  
哺乳量不足を疑う情報として重要なのはどれか。
1. 体温が37.3℃である。
  2. 下肢に落屑がみられる。
  3. 授乳間隔が2時間ごとである。
  4. 過去24時間の排尿回数が4回である。
  5. 血清総ビリルビン値15.0mg/dlである。

次の文を読み 51、52 の問いに答えよ。

29歳の経産婦。12月1日に、妊娠41週2日で、予定日超過の管理目的で入院した。4歳の第1子が4日前にインフルエンザに罹患して保育所を休んでいる。家族内の誰もインフルエンザワクチンを接種していなかった。

51 12月2日、夫は分娩の立会いを希望しているが、この日の朝から38.0℃の発熱と関節痛がある。

夫の分娩の立会いに関する対応で適切なのはどれか。

1. 夫の立会いは許可しない。
2. 隔離した分娩室での出産とし、立会いを許可する。
3. 夫にマスクとガウン着用の上で立会いを許可する。
4. 妊婦にインフルエンザワクチンを接種し、立会いを許可する。
5. 夫が抗インフルエンザウイルス剤を内服した上で立会いを許可する。

52 12月3日に正常分娩をした。褥婦は分娩の8時間前から悪寒を訴えており、分娩時には38.5℃の発熱があった。迅速診断でインフルエンザと診断されたため、抗インフルエンザウイルス剤の内服を開始した。分娩後2時間、母親は初回歩行できており、体温は38.0℃、咳はなく倦怠感も強くない。母乳哺育を希望している。児の体温37.0℃、脈拍125/分、呼吸数45/分。活発に四肢を動かしている。

感染対策上、最も適切なのはどれか。

1. 感染症病棟で母子同室
2. 産科病棟の個室で母子同室
3. 産科病棟の大部屋で母子同室
4. 児をNICU入院とした母子異室
5. 児を新生児室管理とした母子異室

次の文を読み 53～55 の問いに答えよ。

32歳の経産婦。妊娠41週2日に分娩誘発のために診療所に入院した。妊娠中期まで喫煙3本/日。入院時ビショップスコア8点。翌朝、オキシトシン点滴静脈内注射2ミリ単位/分から誘発分娩が開始となった。午後3時、授乳室にいた助産師は、胎児心拍モニター音で児心拍数が急激に70bpm台に低下したことに気づき、陣痛室に行き内診した。自然破水しており、子宮口7cm開大、臍帯脱出を認めた。

診療所は6床。この日の診療所の医療従事者の勤務体制は、外来に産婦人科医2名、看護師2名、病棟に助産師1名、看護師1名が勤務していた。

53 この時点の対応として最も適切なのはどれか。

1. 臍帯の還納を試みる。
2. 外来の医師に電話をかけに行く。
3. 内診指で児頭を持ち上げながら人を呼ぶ。
4. 新生児搬送のために近隣の医療機関に連絡する。

54 このような分娩のために診療所に準備しておくべきもので、最も適切なのはどれか。

1. 血糖測定器
2. 心電図モニター
3. 新生児用バッグ・マスク
4. 人工肺サーファクタント

55 今回の事例から医療安全対策として検討する内容で最も適切なのはどれか。

1. 看護職員の勤務配置
2. 子宮収縮薬の開始時投与量
3. 予定日超過妊婦の分娩方針
4. 喫煙している妊婦に対する保健指導







96

午 前

別 冊









Traube〈トラウベ〉聴診器

①



②



③



④



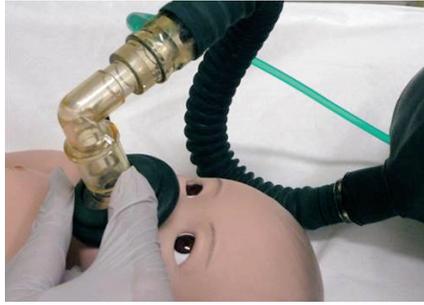
No. 2

(午前 問題 18)

①



②



③



④



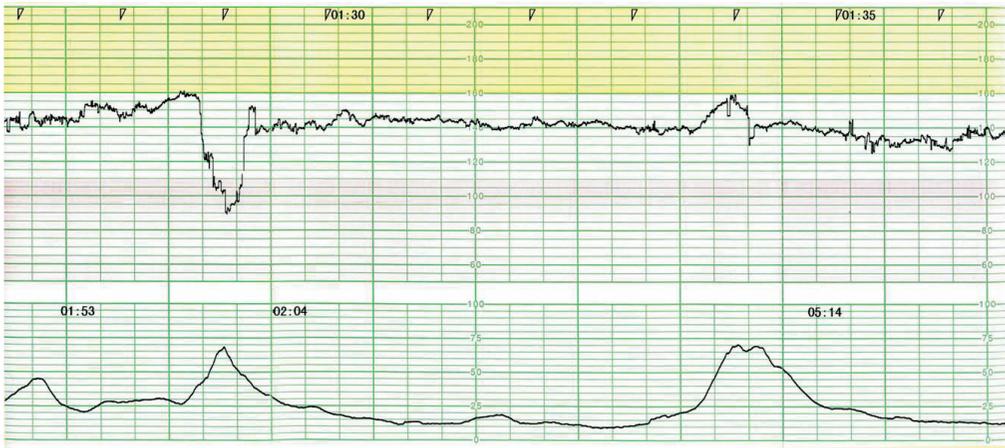
No. 3

(午前 問題 44)



No. 4

(午前 問題 50)

















報道関係者 各位

平成25年3月25日

【照会先】

医政局看護課

看護課長補佐 加藤 典子 (内線4167)

試験免許係長 西村 緑 (内線2594)

(代表番号) 03(5253)1111

## 第 99 回保健師国家試験、第 96 回助産師国家試験及び 第 102 回看護師国家試験の合格発表

厚生労働省は、本日平成 25 年2月に実施した標記国家試験の合格者を発表しました。今回の当該国家試験の合格者数等は次のとおりです。

### 記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
第 99 回保健師	16,712 人	16,420 人	15,764 人	96.0%
(うち新卒者)	15,342 人	15,136 人	14,751 人	97.5%)
第 96 回助産師	2,133 人	2,113 人	2,072 人	98.1%
(うち新卒者)	2,028 人	2,010 人	1,987 人	98.9%)
第 102 回看護師	57,185 人	56,530 人	50,224 人	88.8%
(うち新卒者)	51,926 人	51,458 人	48,413 人	94.1%)

平成25年3月25日

【照会先】

医政局看護課

看護課長補佐 加藤 典子 (内線4167)

試験免許係長 西村 緑 (内線2594)

(代表番号) 03(5253)1111

## 第99回保健師国家試験、第96回助産師国家試験及び 第102回看護師国家試験の合格基準

### 第99回保健師国家試験

一般問題を1問1点(75点満点)、状況設定問題を1問2点(68点満点)とし、  
次の合格基準を満たす者を合格とする。

総得点 86点以上/143点

### 第96回助産師国家試験

一般問題を1問1点(75点満点)、状況設定問題を1問2点(70点満点)とし、  
次の合格基準を満たす者を合格とする。

総得点 87点以上/145点

### 第102回看護師国家試験

必修問題及び一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、  
次の①～②の全てを満たす者を合格とする。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| ① 必修問題           | 40点以上/50点   |
| ② 一般問題<br>状況設定問題 | 160点以上/250点 |

平成25年3月25日

【照会先】

医政局看護課

看護課長補佐 加藤 典子 (内線4167)

試験免許係長 西村 緑 (内線2594)

(代表番号) 03(5253)1111

## 第99回保健師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

### 午後 第 42 問

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

人口 20 万人の A 市。保健センターの保健師は、潰瘍性大腸炎の患者を対象にした勉強会を企画した。市民病院の専門外来を中心に広報したところ、15 人の申し込みがあった。勉強会の内容は、前半の 1 時間は市民病院の専門医による疾患の特徴、診断や治療法などについての講義、後半の 1 時間は保健師によるセルフケア能力の向上のためのグループワークとした。

- 42 勉強会の後、IT 企業に勤める参加者の B さん(30 歳)から、同じ病気で悩んでいる人と情報共有や交流をしたいという希望があった。保健師は、B さんに患者会の立ち上げを勧めることにした。

この時期の保健師からの提案で最も適切なのはどれか。

1. 他県の難病の患者会と交流する。
2. 対象は A 市在住の患者に限定する。
3. 運営が安定するまでは保健師が中心となる。
4. インターネットを活用したコミュニケーションとする。

### 採点上の取扱い

採点対象から除外する。

### 理 由

設問および選択肢が不十分なため、採点対象から除外する。

平成25年3月25日

【照会先】

医政局看護課

看護課長補佐 加藤 典子 (内線4167)

試験免許係長 西村 緑 (内線2594)

(代表番号) 03(5253)1111

### 第99回保健師国家試験合格状況

	出願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
全 体	16,712	16,420	15,764	96.0
新 卒 者	15,342	15,136	14,751	97.5

区 分	学校数	新 卒				既 卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
大学	181	14,393	14,194	13,850	97.6%	1,204	1,124	898	79.9%
短期大学専攻科	8	195	195	195	100.0%	16	16	14	87.5%
養成所	23	754	747	706	94.5%	150	144	101	70.1%
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	212	15,342	15,136	14,751	97.5%	1,370	1,284	1,013	78.9%

平成25年3月25日

【照会先】

医政局看護課

看護課長補佐 加藤 典子 (内線4167)

試験免許係長 西村 緑 (内線2594)

(代表番号) 03(5253)1111

### 第96回助産師国家試験合格状況

	出願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
全 体	2,133	2,113	2,072	98.1
新 卒 者	2,028	2,010	1,987	98.9

区 分	学校数	新 卒				既 卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
大学院	15	118	118	116	98.3%	8	8	5	62.5%
大学専攻科・別科	24	284	282	279	98.9%	8	7	6	85.7%
大学	87	625	623	618	99.2%	34	34	27	79.4%
短期大学専攻科	8	141	141	141	100.0%	7	7	6	85.7%
養成所	46	860	846	833	98.5%	48	47	41	87.2%
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	180	2,028	2,010	1,987	98.9%	105	103	85	82.5%

平成25年3月25日

【照会先】

医政局看護課

看護課長補佐 加藤 典子(内線4167)

試験免許係長 西村 緑 (内線2594)

(代表番号) 03(5253)1111

## 第102回看護師国家試験合格状況

	出願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
全 体	57,185	56,530	50,224	88.8
新 卒 者	51,926	51,458	48,413	94.1

区 分	学校数	新 卒				既 卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
3年課程	743	39,234	38,973	37,208	95.5%	2,081	2,010	948	47.2%
大学	180	14,266	14,213	13,640	96.0%	479	459	273	59.5%
短期大学	46	2,104	2,074	1,835	88.5%	270	258	115	44.6%
養成所	517	22,864	22,686	21,733	95.8%	1,332	1,293	560	43.3%
2年課程	297	9,811	9,628	8,532	88.6%	2,492	2,390	716	30.0%
短期大学	2	—	—	—	—	10	9	2	22.2%
養成所	235	5,849	5,814	5,492	94.5%	856	821	247	30.1%
高等学校専攻科	36	340	337	304	90.2%	204	193	25	13.0%
通信制	24	3,622	3,477	2,736	78.7%	1,422	1,367	442	32.3%
高校・高校専攻科 5年一貫教育	68	2,739	2,718	2,560	94.2%	339	334	100	29.9%
EPA ※	—	—	—	—	—	319	311	30	9.6%
その他	—	142	139	113	81.3%	28	27	17	63.0%
計	1,108	51,926	51,458	48,413	94.1%	5,259	5,072	1,811	35.7%

※EPA内訳	インドネシア				フィリピン			
	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
2009年入国	60	60	14	23.3%	18	18	4	22.2%
2010年入国	32	32	3	9.4%	33	33	1	3.0%
2011年入国	45	44	3	6.8%	64	60	5	8.3%
2012年入国	25	25	0	0.0%	25	25	0	0.0%
帰国者	15	12	0	0.0%	2	2	0	0.0%